

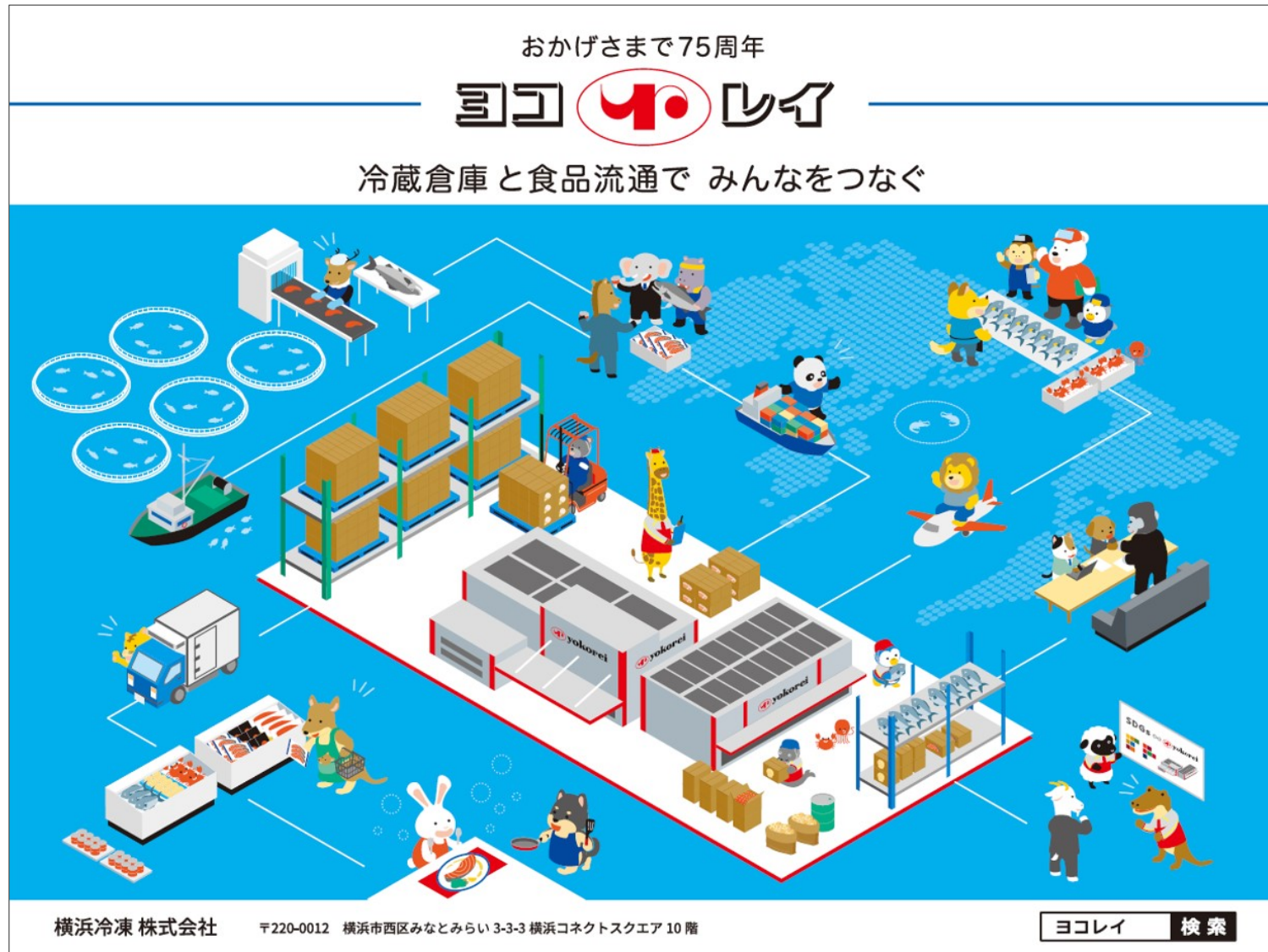
横浜冷凍株式会社 証券コード2874

第76期(2023年9月期第2四半期)

決算説明会



- 1 . 2023年9月期第2四半期 決算実績
- 2 . セグメント別 決算実績
- 3 . 2023年9月期第2四半期 トピックス
- 4 . 2023年9月期 通期業績予想
- 5 . 持続可能な社会へ –サステナビリティへの取り組み–
- 6 . APPENDIX



新聞広告や交通広告をはじめさまざまな機会を通じて、企業理念「会社は社会の公器であり、利益は奉仕の尺度である」のもと、「食」を通じた地域社会への貢献を目指す当社の取り組みを、より多くの方に知っていただけるよう発信していきます。

ポスター：
東京駅、横浜駅、みなとみらい駅、他

1

2023年9月期第2四半期 決算実績

Financial Summary for FY2023 2Q

1. 2023年9月期第2四半期 決算実績
2. セグメント別 決算実績
3. 2023年9月期第2四半期 トピックス
4. 2023年9月期 通期業績予想
5. 持続可能な社会へ
ーサステナビリティへの取り組みー
6. APPENDIX

堅調な需要により売上高は前年同期比15.3%増と二桁増収 電気代高騰や食品販売の国内相場の影響により減益に

売上高	632.7 億円	前年同期比 +15.3%
営業利益	16.9 億円	前年同期比 -29.8%

冷蔵倉庫事業

- 堅調な需要により保管料収入が大幅に増加し増収
- 想定以上の電気代高騰および「ちばりサーチパーク物流センター」の立ち上げに伴う一時的な経費増加により減益

食品販売事業

- 水産品の販売拡大が順調に推移し、増収に大きく貢献
- エビやチキンなどが、需給のバランスの崩れに起因した相場下落により減益

- 売上高632億円(前年同期比+15.3%)、営業利益16.9億円(前年同期比-29.8%)の増収減益

(単位:百万円)	22/09期 第2四半期	23/09期 第2四半期	前期比		23/09期上期予想	
			増減額	増減率	上期業績予想	達成率
売上高	54,889	63,271	8,381	15.3%	61,000	103.7%
売上総利益	6,345	6,069	△275	△4.3%	—	—
売上総利益率	11.6%	9.6%	△2.0pt	-	—	—
営業利益	2,417	1,697	△720	△29.8%	2,400	70.7%
営業利益率	4.4%	2.7%	△1.7pt	-	—	—
経常利益	3,018	1,992	△1,025	△34.0%	2,500	79.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,032	1,190	△841	△41.4%	1,600	74.4%
設備投資額	3,156	5,517	2,360	74.8%	—	—
減価償却費	3,134	3,139	5	0.2%	—	—
E B I T D A	5,552	4,837	△715	△12.9%	—	—
自己資本比率	48.0%	43.0%	△5.0pt	-	—	—

連結貸借対照表

- 流動資産の商品の増加は単価上昇が主な要因
- 固定資産の有形固定資産の増加は「ちばりサーチパーク物流センター」竣工が主な要因
- 固定負債の長期借入金の増加は、新設および来年以降竣工予定の設備資金が主な要因

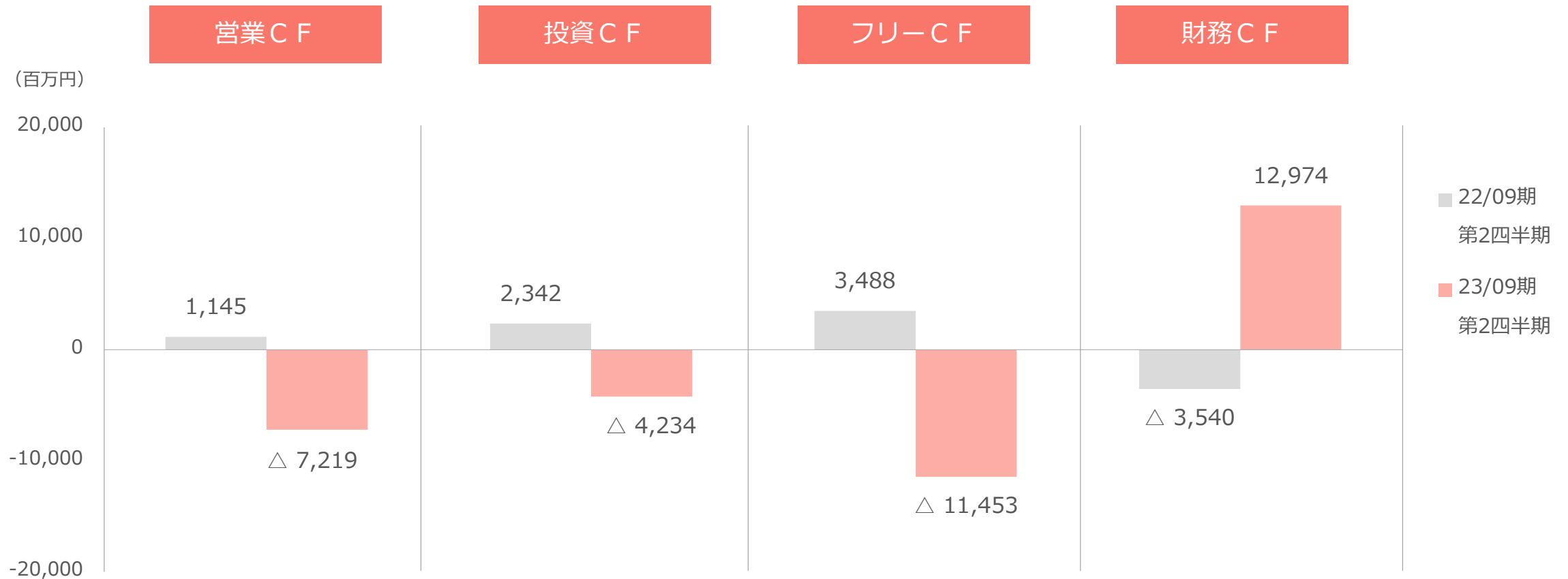
(単位:百万円)

資産				負債・純資産			
	22/09期末	23/09期 第2四半期	増減		22/09期末	23/09期 第2四半期	増減
流動資産	37,934	48,212	10,278	流動負債	31,430	34,857	3,427
受取手形及び売掛金	13,933	17,190	3,256	支払手形及び買掛金	5,225	5,549	324
商品	15,660	22,804	7,143	短期借入金 ※1	17,458	20,020	2,562
短期貸付金	4,953	2,130	△2,823	固定負債	62,420	73,184	10,764
固定資産	141,087	143,668	2,581	長期借入金	29,727	41,047	11,320
有形固定資産	94,837	97,075	2,238	純資産	85,170	83,839	△1,331
投資有価証券	39,357	39,557	200	株主資本	79,157	79,538	380
総資産	179,021	191,881	12,860	負債及び純資産	179,021	191,881	12,860

※1 短期借入金には1年以内返済予定の長期借入金を含みます

連結キャッシュフロー計算書

- 営業キャッシュフロー：主に棚卸資産の増加により、前期比で減少
- 投資CF：主に固定資産の取得による支出により減少
- 財務CF：主に資金の長期借入により増加



セグメント別 決算実績

Segment Result

1. 2023年9月期第2四半期 決算実績
2. セグメント別 決算実績
3. 2023年9月期第2四半期 トピックス
4. 2023年9月期 通期業績予想
5. 持続可能な社会へ
ーサステナビリティへの取り組みー
6. APPENDIX

セグメント別 損益

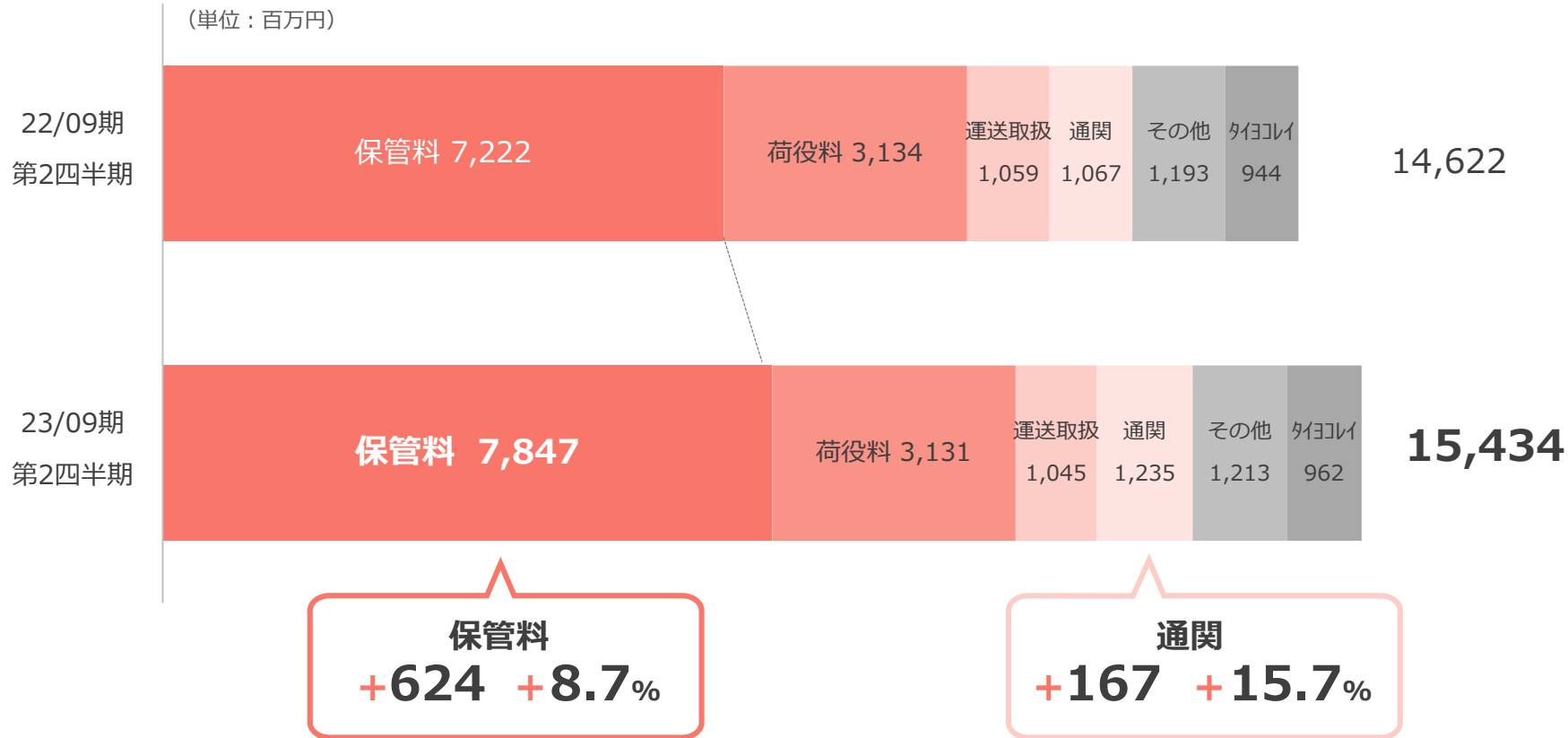
- 冷蔵倉庫事業： 需要増により在庫量、出庫量、在庫数量ともに順調に前期を上回り**増収**
想定以上の電気代高騰および「ちばりサーチパーク物流センター」の立ち上げに伴う一時的な経費増加により-163百万円の減益
- 食品販売事業： 国内量販店、外食等への販売拡大や水産品の海外販売拡大により**増収**
エビやチキンなどが需給のバランスの崩れに起因した相場下落により-227百万円の減益

(単位:百万円)	22/09期 第2四半期	23/09期 第2四半期	前期比		23/09期予想	
			増減額	増減率	通期予想	進捗率
売上高	54,889	63,271	8,381	15.3%	124,000	51.0%
冷蔵倉庫事業	14,622	15,434	812	5.6%	30,500	50.6%
食品販売事業	40,241	47,807	7,566	18.8%	93,500	51.1%
その他	25	28	3	13.6%	-	-
セグメント利益	4,141	3,738	△403	△9.7%	-	-
冷蔵倉庫事業(※)	3,417	3,253	△163	△4.8%	6,750	48.2%
食品販売事業(※)	697	470	△227	△32.6%	1,850	25.4%
その他(※)	26	14	△12	△46.9%	-	-

※ 各セグメントの営業利益は、配賦不能営業費用（管理部門にかかる費用）の控除前です。

冷蔵倉庫事業 - 売上高分析 -

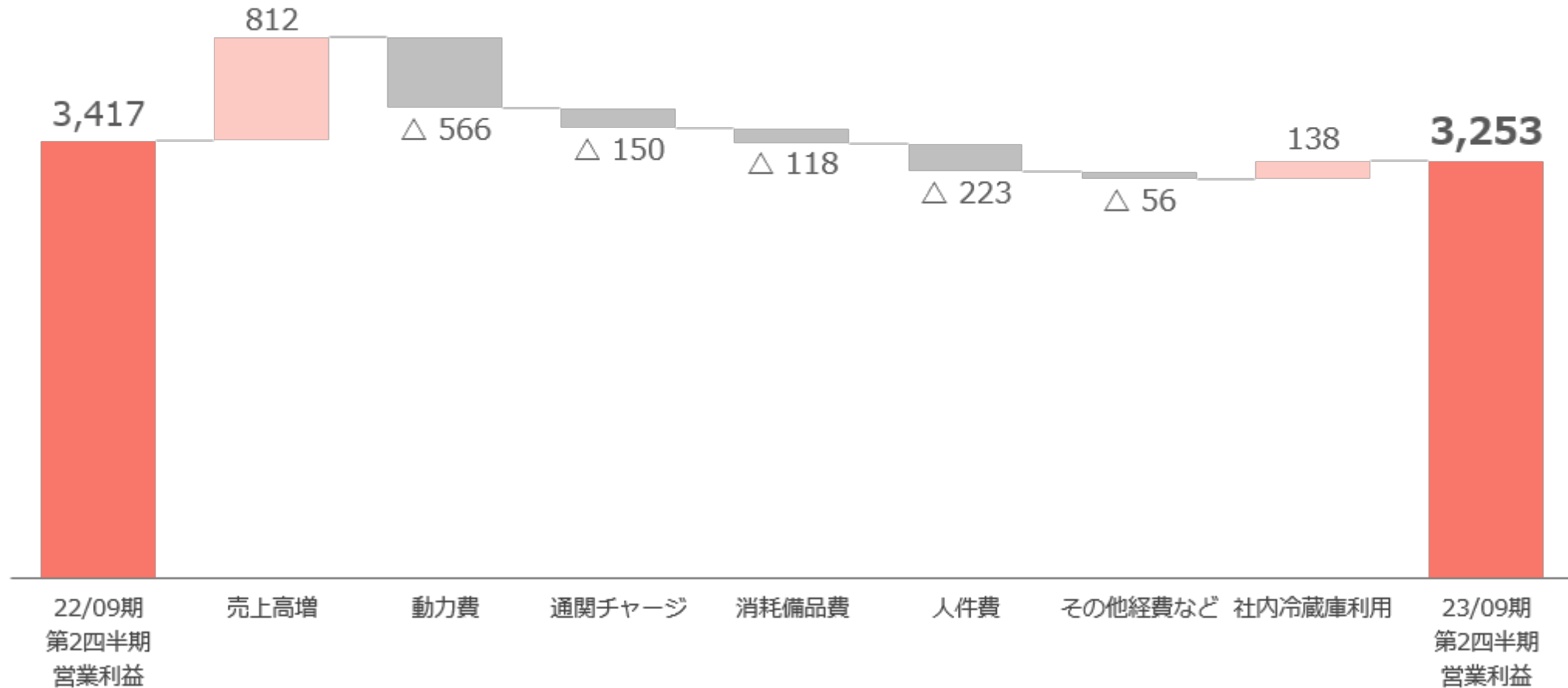
- 新型コロナウイルスの影響はありつつも荷動きは回復し、入庫量、出庫量、在庫数量ともに前期を上回る
- 平均保管在庫の増加により保管料、通関が増加



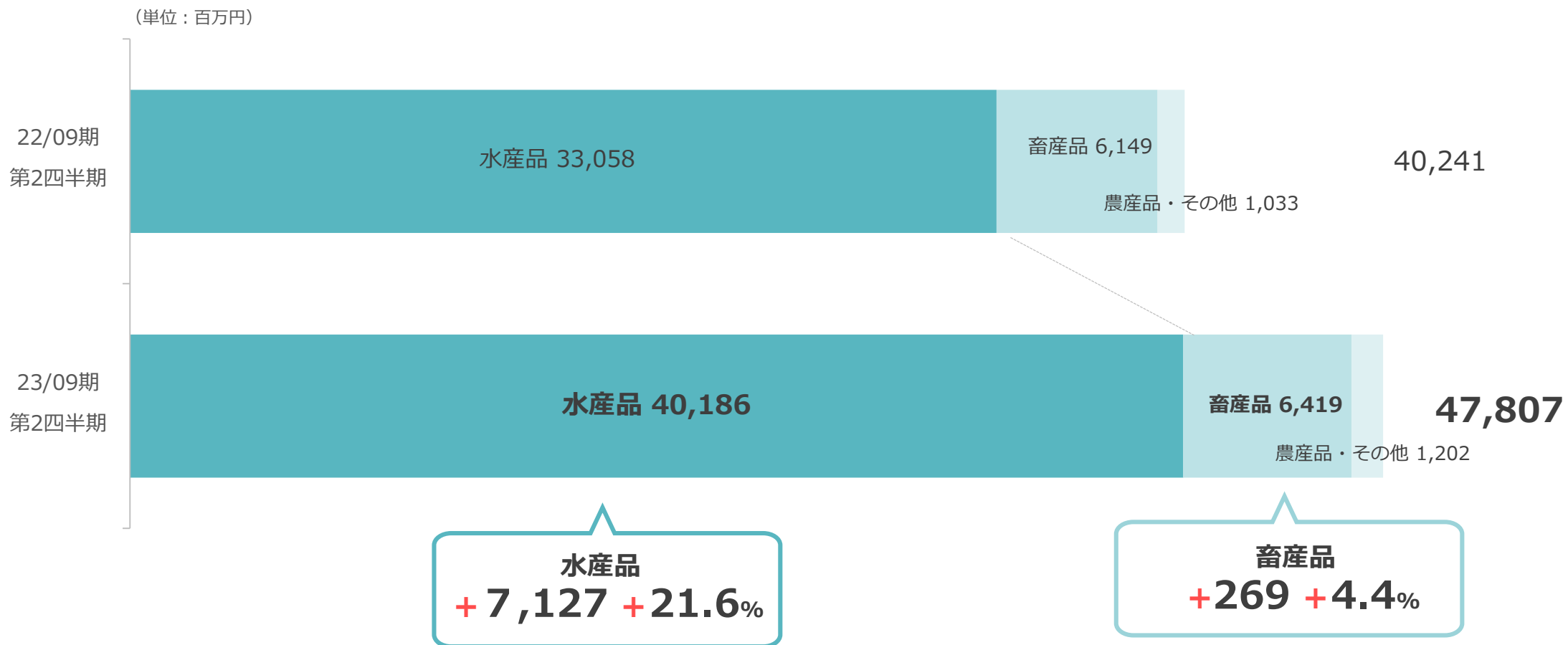
貨物の取扱状況 (前年同期比)	
入庫取扱量	+0.5%
出庫取扱量	+0.4%
平均保管在庫	+6.9%
平均保管単価	+1.5%

- 堅調な需要により売上高812百万円増収なるも、電気代の高騰および新設冷蔵庫の一時費用（パレット購入等）により163百万の減益

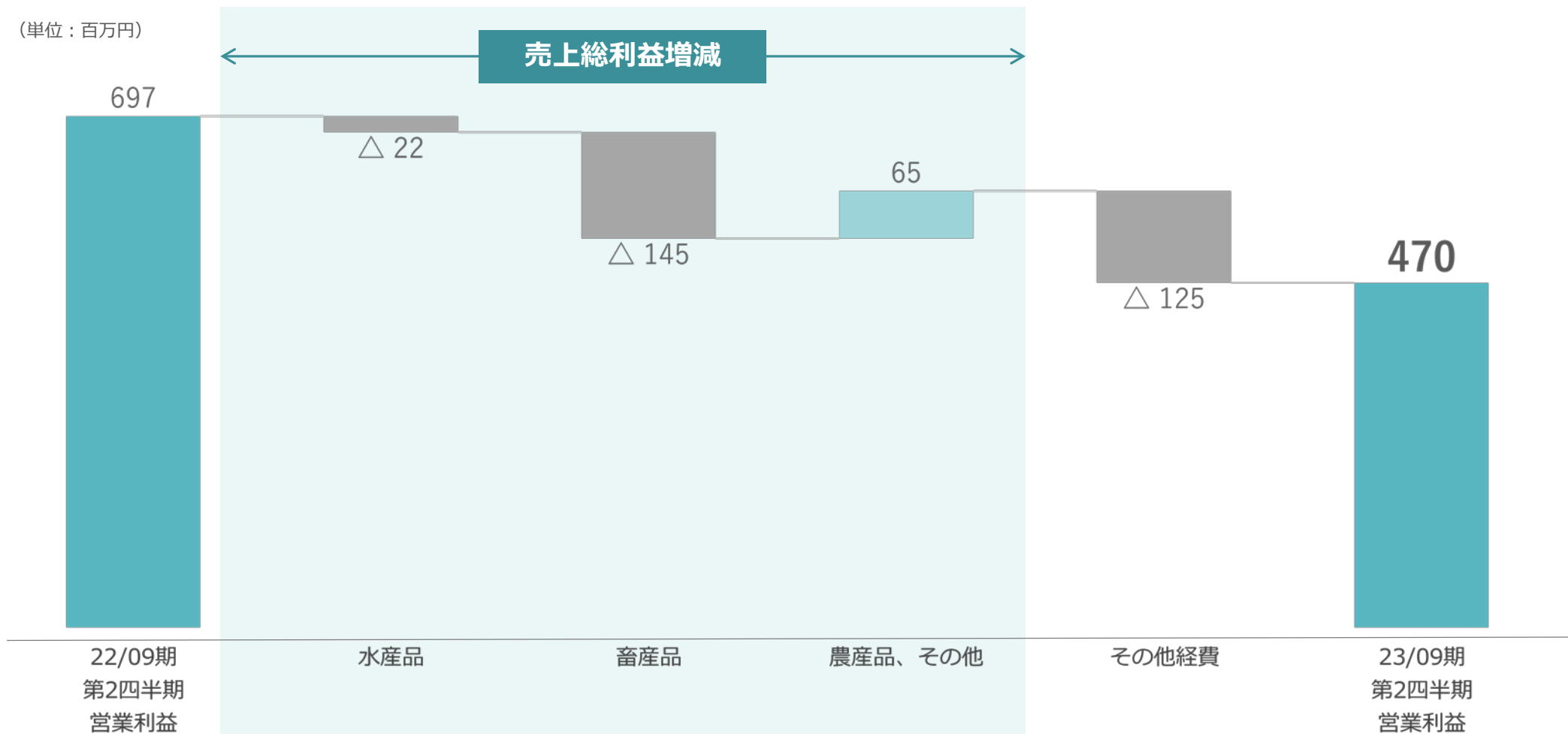
(単位：百万円)



- 水産品： 中期経営計画で進めている事業品であるサーモンの販路拡大が進展
主要品目の輸入サバ、イカ、ウナギ等、その他、三国間貿易も好調に推移
- 畜産品： 量販店への販路拡大や外食向けの取扱いが回復し、売上が拡大



- 水産品、畜産品は増収なるもエビやチキンなどの相場下落により、セグメント利益は227百万円の減益に



3

2023年9月期第2四半期 トピックス

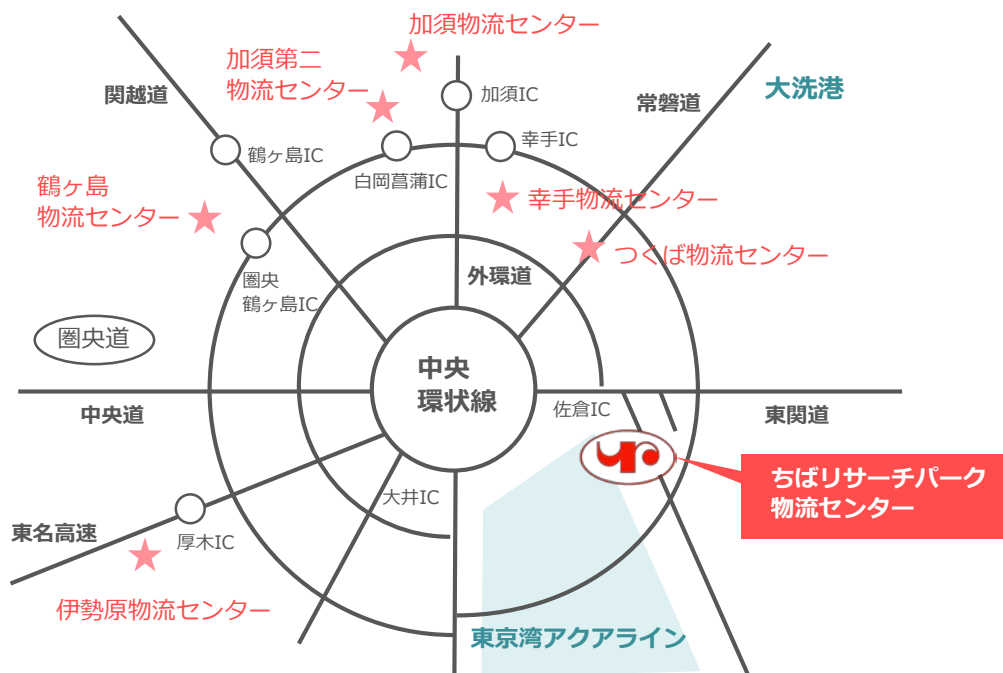
FY2023 2Q Topics

1. 2023年9月期第2四半期 決算実績
2. セグメント別 決算実績
3. 2023年9月期第2四半期 トピックス
4. 2023年9月期 通期業績予想
5. 持続可能な社会へ
ーサステナビリティへの取り組みー
6. APPENDIX

首都圏から北関東までをカバーする物流センター「ちばリサーチパーク物流センター」（収容能力：3万475トン）が2023年3月1日竣工

関東地区の要衝な立地

- 首都圏および北関東・東北にアクセスしやすい立地
- 大洗港－北海道間のフェリー貨物の取り扱いも見込める物流の要衝の地



環境に配慮した最新鋭の次世代型冷蔵倉庫

- ✓ 省人化・省力化に特化し、最新鋭のDXを導入

作業用ロボットを使用したデバンパライズシステム（DPS）を導入



RFID（近距離無線通信を用いた自動認識技術）タグを埋め込んだパレットを使用したパレット管理

- ✓ BCP対策の強化

当社最大級の太陽光発電システムと大容量蓄電池を導入し、当社初の「蓄電による冷蔵倉庫の冷却」を実現

平常時だけでなく災害などの非常時でも、当センターで発電したエネルギーで倉庫内の冷却が可能

- ベトナムのロンアン省ベンルック県のフーアンタン工業団地（PAT）に当社100%出資の現地法人を設立
- 3月15日に、同工業団地(PAT)内に冷蔵倉庫着工(2025年1月竣工予定)

ホーチミン市と、ベトナム南西部のメコンデルタ地区を繋ぐ物流拠点



▶▶▶ ベトナムで加工した水産品の保管、販売、流通、また、日本国内で水揚げされた輸出品の中継場所として、**冷蔵倉庫事業と食品販売事業とのシナジー効果**も期待

ベトナム現地法人概要

会社名	日本語：ベトナムヨコレイ有限会社
代表者	代表取締役社長 関 晋也
設立	2023年3月3日
株主	横浜冷凍株式会社（100%出資）
事業内容	冷蔵倉庫業

ベトナム冷蔵倉庫概要

収容能力	約45,000トン
主な設備	<ul style="list-style-type: none">• 当社初の自動ラック設備• 大容量の太陽光発電設備• 電動式移動ラック設備• 省エネ型自然冷媒冷凍機
工期	2023年3月～2025年1月予定

経済産業省および国土交通省が実施する「物流パートナーシップ優良事業者表彰」で『物流構造改革表彰』を受賞（2022年12月22日 表彰式）

食品業界における『卸センターにおける納品事業者の待機時間削減』という社会課題解決に向けた、パレチゼーションによる冷凍物流の高効率化



トラック
手待ち時間

9,184時間/年削減



排出量

約**10%**削減

- ✓ 日本アクセス様と当社加須第二物流センターにて「フローズンマザーセンター」を設置し、関東エリア内の仕入機能を集約。
- ✓ 生産・販売計画を共有し、調達から納品に至る物流をパレット単位・車両単位での発注に置き換え、一貫パレチゼーション化を促すことで、積込・納品業務の効率化（トラック待機時間削減9,184時間/年）とそれに伴うCO₂の削減(35.7t- CO₂/年「10%削減」)を実現。

<https://www.yokorei.co.jp/news/detail.php?type=news&id=2AR2JDT>

4

2023年9月期 通期業績予想

Earnings Forecast for FY2023

1. 2023年9月期第2四半期 決算実績
2. セグメント別 決算実績
3. 2023年9月期第2四半期 トピックス
4. 2023年9月期 通期業績予想
5. 持続可能な社会へ
ーサステナビリティへの取り組みー
6. APPENDIX

2023年9月期 通期業績予想

- 通期の見通しは期初予想据え置き
- 冷蔵倉庫事業は堅調な需要増、食品販売事業は国内相場が安定してきたこと等により、予想達成を目指す

(単位:百万円)	23/09期 第2四半期実績	23/09 期 上期予想		23/09期 通期予想	
		上期予想	達成率	通期予想	進捗率
売上高	63,271	61,000	103.7%	124,000	51.0%
冷蔵倉庫事業	15,434	—	—	30,500	50.6%
食品販売事業	47,807	—	—	93,500	51.1%
営業利益	1,697	2,400	70.7%	5,000	34.0%
冷蔵倉庫事業	3,253	—	—	6,750	48.2%
食品販売事業	470	—	—	1,850	25.4%
配賦不能費用他	2,026	—	—	3,600	—
経常利益	1,992	2,500	79.7%	5,200	38.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,190	1,600	74.4%	3,400	35.0%
減価償却費	3,139	—	—	6,665	—

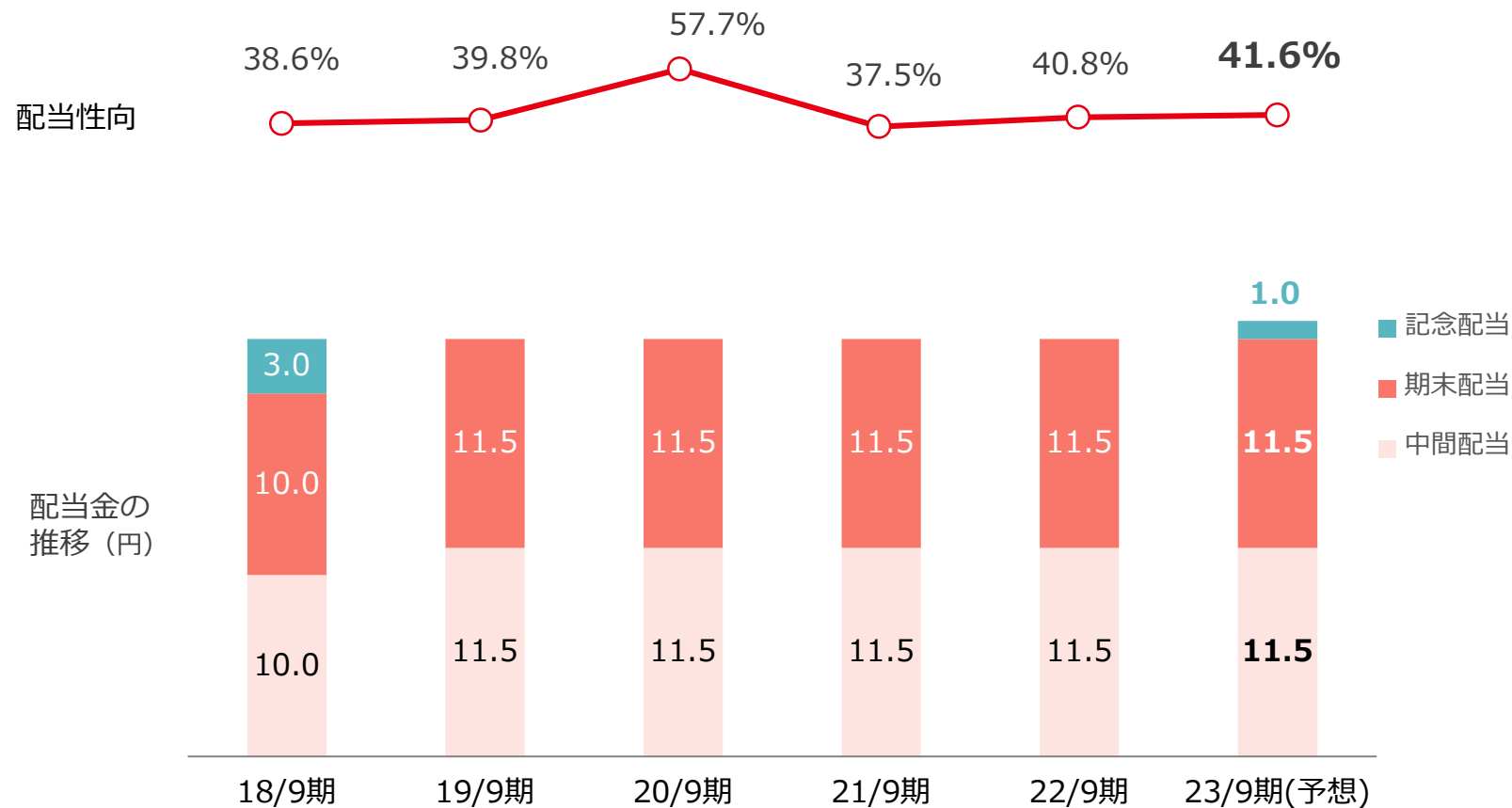
23年期末に+1.0円の
創立75周年記念配当を
実施予定

22/9期 年間 **23円**



23/9期 年間 **24円**

－ 1株当たり配当金と配当性向の推移－



5

持続可能な社会へ

－サステナビリティへの取り組み－

For the sustainable society

経営理念

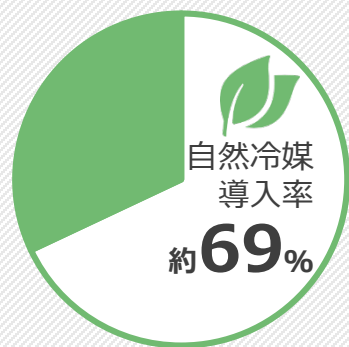
「会社は社会の公器であり、利益は奉仕の尺度である」

1. 2023年9月期第2四半期 決算実績
2. セグメント別 決算実績
3. 2023年9月期第2四半期 トピックス
4. 2023年9月期 通期業績予想
5. 持続可能な社会へ
－サステナビリティへの取り組み－
6. APPENDIX

環境を破壊しない 自然冷媒による冷却システム

業界でもいち早く冷媒をフロンから、
環境にやさしい自然冷媒（NH3、CO2）
へ切り替え

業界トップクラス



太陽光発電システム によりCO2を削減

冷蔵倉庫で太陽光発電システムが稼働



物流センターの屋上に設置された太陽光発電
モジュール

省エネな冷蔵倉庫

業界平均より電力使用が
8% 少ない

収容能力1000トンあたり
の電気の使用量

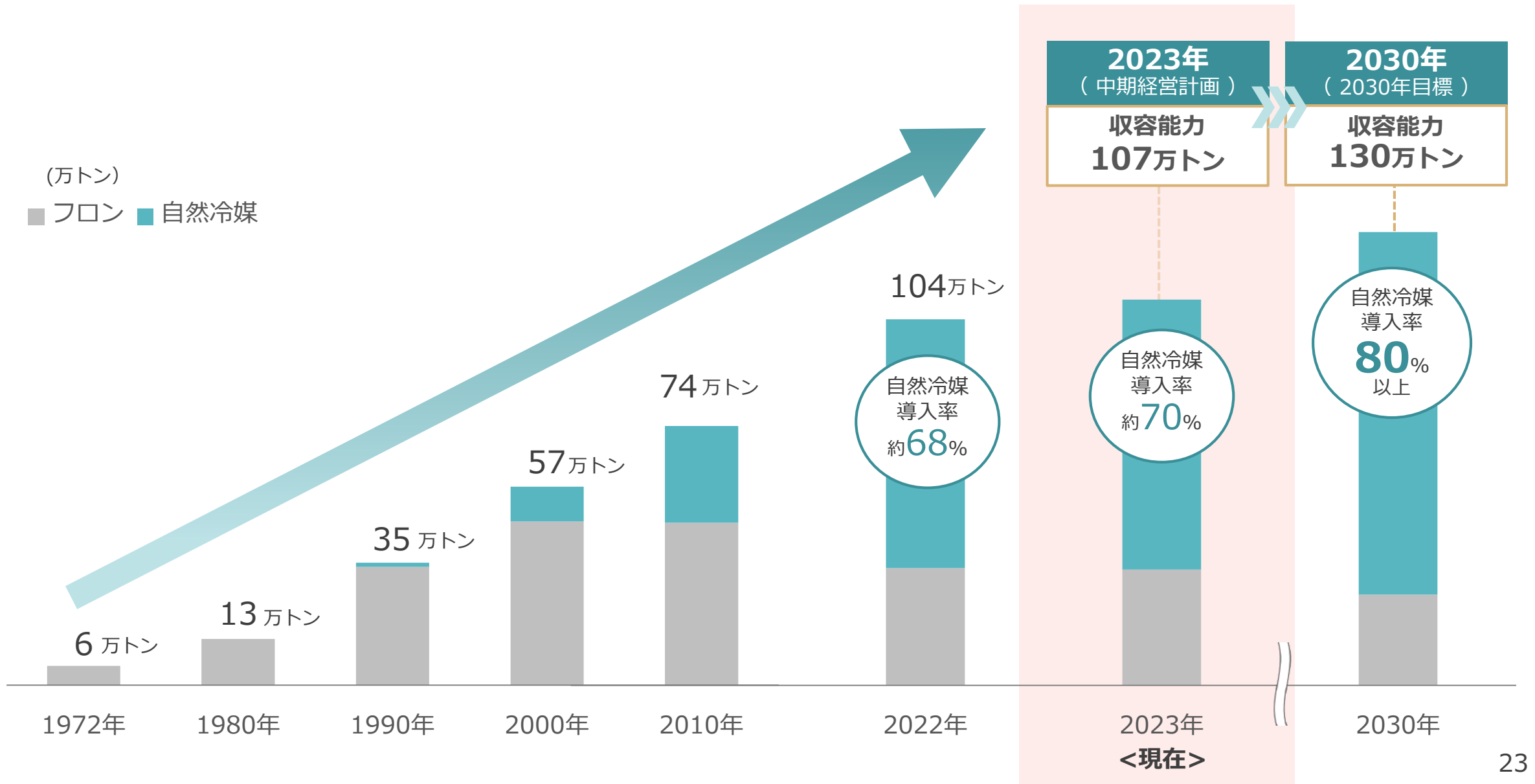
業界平均 : 162 MWh
当社 : **149** MWh

日本冷蔵倉庫協会
冷蔵倉庫実態調査 2022年版 より

✓ 自然環境・地球にやさしい物流を実現 ✓ 電気高騰の影響が業界平均よりも少ない

温室効果ガスのサプライチェーン排出量を意識する顧客に選ばれる冷蔵倉庫へ

環境配慮NO.1 冷蔵収容能力と自然冷媒の割合



環境への 取り組み

気候変動をはじめとする環境問題への 取り組みを積極的に推進



TCFD | TASK FORCE ON
CLIMATE-RELATED
FINANCIAL
DISCLOSURES



「TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）」
の提言へ賛同を表明
「TCFDコンソーシアム」に加盟

環境への 取り組み

環境に配慮した冷蔵倉庫の建設



太陽光発電システム

- 国内18カ所、タイ2カ所の
冷蔵倉庫に設置



自然冷媒冷凍機の導入

- 自然冷媒(アンモニア・CO2)
の導入推進



全事業所でグリーン経営認証を取得

省人化 & 自動化

省人化・自動化システムの導入



- 作業用ロボットを使用したデバンパレタイズシステム（DPS）を導入
 - 荷下ろし後の貨物のパレットへの積み上げ、フィルム梱包までの一連の作業を完全に自動化



- カーゴナビゲーションシステム
 - 入出庫作業を大幅に効率化



- トラック予約受付システム
 - トラックの長時間待機問題の解決に向けた取り組み



ダイバーシティ

ダイバーシティへの取り組み

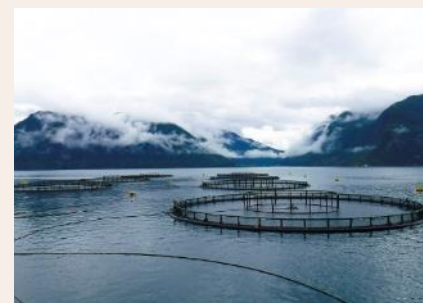


- 女性の活躍・キャリア継続を支援
- 働きやすい職場づくりの推進



ASC・CoC 認証

持続可能な水産物



- ホフセスアクア社(ノルウェー) 保有の全養殖場でASC認証を取得
- CoC認証も取得し、環境と社会に配慮した持続可能な水産物の調達・供給を推進



スポンサー活動

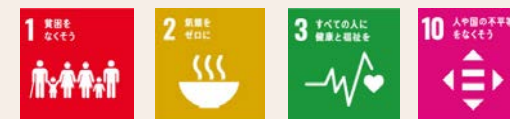
スポンサー活動による地域貢献



- 地域スポーツクラブの支援
- 日本将棋連盟「研修会」運営の支援
- えのすいecoサポーターとして
新江ノ島水族館の エコ活動に協賛

社会貢献活動

全国食支援活動協力会へ保管場所を提供



東京羽田物流センターで、全国食支援活動協力会のミールズ・オン・ホイールズ ロジシステム (MOWLS) の中核ロジ拠点として保管場所の提供を開始



- MOWLSとは、全国のこども食堂等の「居場所」に集う子どもから高齢者等すべての人が食事を得られる環境をサポートするシステム

中核ロジ拠点



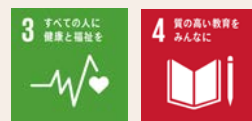
県域もしくは複数県域分の寄贈食品の保管機能をもった倉庫

- MOWLSは支援者からの寄贈が効率的に運搬・仕分け・分配されることで支援者の負担を軽減し、活動者への支援が充実することを旨とする

社会貢献活動

寄付・協賛金による支援

『Sweet heart project』への寄付・支援



- ハンディキャップを抱える人々が福祉施設でお菓子作りを行う活動を支援する団体『Sweet heart project』への寄付・支援
このお菓子を当社のイベントやお客様へのお土産として活用することで同活動を応援



6

APPENDIX

SOURCE BOOK

1. 2023年9月期第2四半期 決算実績
2. セグメント別 決算実績
3. 2023年9月期第2四半期 トピックス
4. 2023年9月期 通期業績予想
5. 持続可能な社会へ
ーサステナビリティへの取り組みー
6. APPENDIX



ヨコレイ本社 (横浜コネクトスクエア)

会社名	横浜冷凍株式会社
本社所在地	横浜市西区みなとみらい3-3-3 横浜コネクトスクエア10F
設立	1948年5月13日
代表者	代表取締役会長 吉川俊雄 代表取締役社長 松原弘幸
資本金	14,303百万円
事業拠点	冷蔵倉庫事業 国内50 海外5 食品販売事業 国内25 海外1
従業員数	連結 1,620名 単体 1,296名
上場証券取引所	東証プライム (証券コード 2874)

※2023年3月31日現在

冷蔵倉庫事業

冷蔵倉庫 50拠点
冷蔵収容能力 約970,000トン

主要拠点

名港物流センター 22,356トン
つくば物流センター 24,725トン
福岡ISLAND CITY物流センター 32,265トン
ちばりサーチパーク物流センター 30,475トン

通関事業

通関部 5拠点

食品販売事業

水産品 19拠点
畜産品 4拠点
農産品 1拠点
その他 1拠点

買参権

国内主要漁港
11か所で所有

- ・八戸
- ・女川
- ・塩釜
- ・佐世保
- ・長崎
- ・平戸
- ・気仙沼
- ・石巻
- ・唐津
- ・松浦
- ・枕崎

• 業界比較 品目別入庫 (セグメント外取引含まず)

(単位:千トン)

品目別入庫実績		2022年9月期 第2四半期	2023年9月期 第2四半期	前年同期比	
				増減	増減率
水産品	ヨコレイ (シェア)	97 (9.6%)	100 (10.5%)	3 (0.9pt)	3.1%
	日冷倉12都市	1,009	951	△58	△5.7%
畜産品	ヨコレイ (シェア)	242 (11.5%)	237 (11.4%)	△5 (△0.1pt)	△2.1%
	日冷倉12都市	2,112	2,081	△31	△1.5%
農産品	ヨコレイ (シェア)	98 (16.6%)	102 (17.0%)	4 (0.4pt)	4.1%
	日冷倉12都市	592	600	8	1.4%
冷凍食品他	ヨコレイ (シェア)	263 (11.1%)	265 (11.1%)	2 (0.1pt)	0.8%
	日冷倉12都市	2,377	2,382	5	0.2%
合計	ヨコレイ (シェア)	700 (11.5%)	704 (11.7%)	4 (0.2pt)	0.6%
	日冷倉12都市	6,090	6,014	△76	△1.2%

• 主要品目別 入庫 (セグメント外取引含まず)

(単位:千トン)

主要品目別入庫	2022年9月期 第2四半期	2023年9月期 第2四半期	前年同期比	
			増減	増減率
エビ	8,958	9,843	885	9.9%
サケ	11,287	17,103	5,816	51.5%
カイ	6,203	8,629	2,426	39.1%
サバ	8,125	7,214	△911	△11.2%
イカ	3,271	4,347	1,076	32.9%
水産品計	97,375	100,103	2,728	2.8%
チキン	95,756	97,094	1,338	1.4%
ポーク	53,652	50,337	△3,315	△6.2%
ビーフ	27,098	26,867	△231	△0.9%
畜産品計	241,850	237,284	△4,566	△1.9%
イモ類	24,224	32,809	8,585	35.4%
果汁・ジュース	6,412	9,993	3,581	55.8%
農産品計	98,274	101,562	3,288	3.3%
冷凍食品他計	262,686	264,619	1,933	0.7%
合計	700,185	703,567	3,382	0.5%

• 業界比較 品目別月末在庫累計（セグメント外取引含まず）

（単位：千トン）

品目別在庫累計		2022年9月期 第2四半期	2023年9月期 第2四半期	前年同期比	
				増減	増減率
水産品	ヨコレイ (シェア)	420 (13.9%)	483 (14.7%)	63 (0.8pt)	15.0%
	日冷倉12都市	3,012	3,277	265	8.8%
畜産品	ヨコレイ (シェア)	597 (14.0%)	617 (12.9%)	20 (△1.1pt)	3.4%
	日冷倉12都市	4,256	4,791	535	12.6%
農産品	ヨコレイ (シェア)	501 (32.8%)	528 (33.0%)	27 (0.2pt)	5.4%
	日冷倉12都市	1,527	1,599	72	4.7%
冷凍食品他	ヨコレイ (シェア)	315 (12.1%)	357 (12.7%)	42 (0.6pt)	13.3%
	日冷倉12都市	2,603	2,819	216	8.3%
合計	ヨコレイ (シェア)	1,833 (16.1%)	1,984 (15.9%)	151 (△0.2pt)	8.2%
	日冷倉12都市	11,397	12,486	1,089	9.6%

• 主要品目別 売上数量・金額・単価（連結ベース）

（単位：数量=トン・金額=百万円・単価=円）

主要品目	2022年9月期 第2四半期			2023年9月期 第2四半期			前年同期比		
	数量	金額	単価	数量	金額	単価	数量	金額	単価
ポーク	6,821	3,160	463.4	6,748	3,369	499.3	△73	208	35.9
チキン	4,835	1,679	347.4	5,286	2,105	398.3	451	425	50.9
ビーフ	1,517	1,229	810.7	897	885	987.3	△620	△344	176.7
鮭 鱒	4,105	3,609	879.2	4,610	5,269	1,143.1	505	1,660	263.8
ホタテ	3,136	3,625	1,156.2	2,808	3,647	1,298.9	△328	21	142.7
サバ	25,741	4,822	187.4	20,802	4,825	232.0	△4,939	2	44.6
エビ	2,150	2,491	1,158.7	2,494	3,098	1,242.2	344	606	83.5
カニ	607	2,843	4,685.2	249	736	2,958.8	△358	△2,107	△1,726.4
イカ	8,138	2,659	326.8	10,591	4,828	455.9	2,453	2,168	129.1
ホッケ	3,887	1,272	327.5	4,462	1,508	338.2	575	235	10.7
ウナギ	497	1,480	2,979.0	476	1,649	3,459.8	△21	166	480.8



— 「人」「もの」「地球」に優しい食品流通のエキスパート —



**FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index**

当社は「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」の
構成銘柄です。

本資料に記載されている内容は種々の前提に基づいたものであり、将来の数値等に関する記載については、不確実な要素を含んだものをご理解ください。

当社の事前の承諾なしに、本資料に掲載されている内容の複製、転載等を行うことを禁止します。



◀ 横浜冷凍(株)ホームページは
こちらをスキャン

お問い合わせ先

横浜冷凍株式会社 広報 I R 部

TEL: 045-210-0011

E-mail: info@yokorei.co.jp

URL : <https://www.yokorei.co.jp/>